

OB会通信

2017年度 第三号
大阪府立大学陸上競技部

拝啓

寒気日増しにつり、冷え込みの厳しい季節となってまいりました。OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たち陸上部員一同はシーズンの主要な試合を終え、来シーズンの更なる活躍を目指して、日々冬季練習に励んでおります。

今回は、9月13日から14日にかけて行われた新人戦、10月17日から20日にかけて行われた関西種目別選手権、11月18日に行われた丹後大学駅伝を中心に報告させていただきます。

敬具



9年ぶりに丹後大学駅伝本戦の出場権を獲得した中・長距離パート

目次

1. 主将あいさつ

2. 主要試合結果報告

2017 関西学生新人陸上競技選手権大会

兼 2017 ディムライトリレーズ

2017 関西学生陸上競技種目別選手権大会

兼 第39回関西学生混成選手権大会

丹後大学駅伝

兼 第79回関西学生対校駅伝競走大会

3. その他の試合結果

4. 今後の目標と反省

1. 主将あいさつ

初冬の候、OB・OGの皆様はいかがお過ごしでしょうか。

さて、今回のOB通信では関西学生新人選手権大会、関西学生種目別選手権大会、丹後大学駅伝についてご報告させていただきます。

まず、関西新人選手権大会では1・2回生の中から5名の選手が出場しました。年々新生の数が減少しており、選手層の薄さが課題であると痛感しました。しかしながら、長野(2)が女子1500mで優勝を果たすなど明るい戦績もありました。来年は新生生の勧誘にも力を入れ、チーム全体としての底上げをしていきたいと思ひます。

シーズン最後の大きな大会となった関西学生種目別選手権大会は、天候に恵まれず、雨が降り続き、気温も低い中での大会となりました。そんな中でもベストを更新した選手がいたり、男子200mでは府大新記録が誕生したりと各々が今まで積み重ねてきた練習の成果が発揮された大会となりました。しかし、今年決勝進出を果たしたのは1名のみと少し物足りない結果となってしまいました。来年は決勝進出者をより多く出し、関西でも高いレベルで戦える選手を増やせるように頑張りたいと思ひます。

丹後大学駅伝は、新生生の加入により長距離パートの層が厚くなったことで9年ぶりの出場が叶いました。小雨の降るコンディションの中、新生生から大学院の選手までが懸命に襷を繋ぎ、22校中21位でゴールしました。今回の経験を今後につなげ、来年以降更に上位を狙って行きたいと思ひます。

私事ではありますが、今回のOB通信で私が主将あいさつを書かせていただくのは最後となります。この1年間、たくさんの方を経験させていただき、本当に感謝しております。また、大会に応援に来てくださったOB・OGの皆様、応援のメッセージを贈ってくださったOB・OGの皆様にも大変感謝しております。12月からは私の次の代が新しい幹部となります。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願ひいたします。

文責 主将 川原 知己(3)

2. 主要試合結果報告

☆は自己ベスト、★は大学ベスト

2017 関西学生新人陸上競技選手権大会 兼 2017 ディムライトリレーズ

9月13日、14日 ヤンマーフィールド長居
グランドコンディション

9月13日 晴れ 31.5℃

9月14日 曇り 30.8℃

男子400m

松田 恒輝 (2) 予 50" 24 (6着)

同じ組の編成が良く、気負いせずに走れたと話していた。記録も悪くはなく、自己記録の更新へ一歩ずつ近づいていると見られるので、残された試合に向けて調整を重ねてもらいたい。

文責 宮崎 颯人 (2)

男子800m

小澤 一郎 (2) 予 1' 58" 81 (3着)

準 2' 02" 31 (7着)

小澤 (2) は予選では集団の前方を走り、3着で準決勝に進出した。しかし、準決勝ではスタートから集団のペースについていくことが出来ず、また、後半粘ることが出来なかった。実力では決勝に進むことが可能であり、悔しいレースとなった。日々の練習を見つめ直し、関西種目別選手権でリベンジしてもらいたい。

文責 中嶋 利騎 (2)

男子1500m

小澤 一郎 (2) 予 4' 09" 85 (6着)
中嶋 利騎 (2) 予 4' 14" 67 (11着)
西坂 友希 (1) DNS

小澤 (2) は前日の800mの疲れもあったが、その疲れも見せないような走りで前半から先頭集団に食らいついた。ラスト1週でペースを上げたが、残り200m付近で抜かれてしまい、6着でフィニッシュした。中嶋 (2) は前半から自分のペースを守り、ラストで怒涛の追い上げをみせたが、惜しくも先頭集団には届かず、悔しい結果となった。両者ともに課題は見つかったようなので、今後の自己記録更新に期待したい。

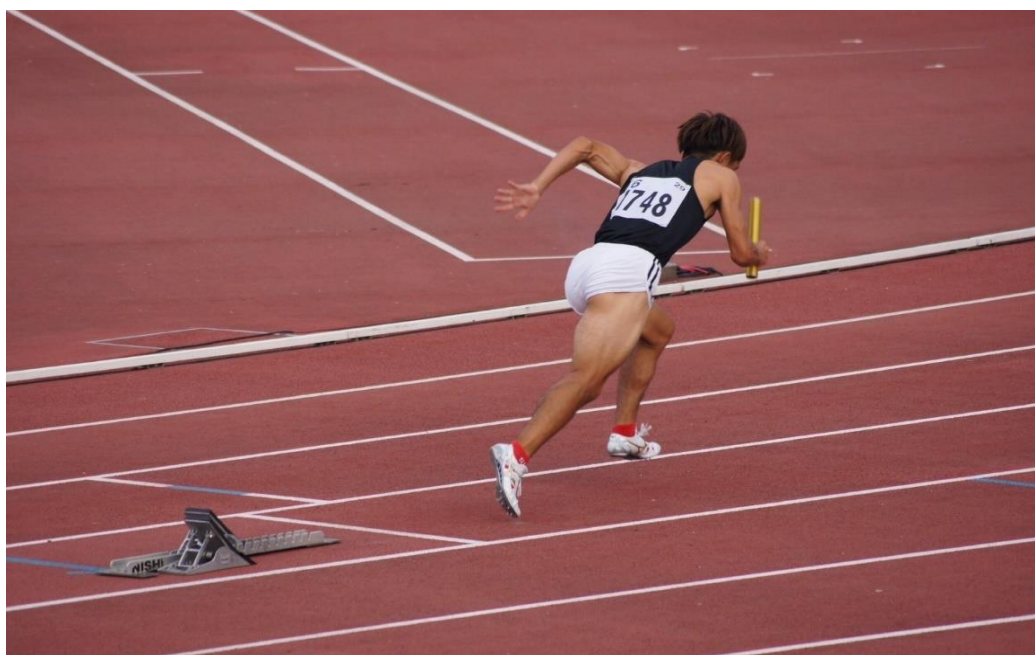
文責 永野間 陸 (2)

男子4×100mR

大阪府立大学 (宮崎 (3) 一松田 (2) 一中田 (4) 一嶋田 (M2))
予 42" 06 (3着)
B決 42" 24 (3着)

予選では2走の松田 (2) と中田 (4) の間のバトンパスでロスがあったものの、組3着でB決勝に駒を進めた。B決勝ではバトンを修正し、タイムを上げることが理想だったが、わずかながらタイムを落としてしまい悔しそうであった。十分に記録を狙えるメンバーなので、今後の41秒台、また府大記録更新を期待したい。

文責 藤沢 由香 (2)



男子4×100mRを走る宮崎 (3)

男子4×400mR

大阪府立大学（中田（4）一駒井（4）一千種（3）一大江（1））

予 3' 27" 99 （6着）

1走の中田（4）は前種目の4×100mRを走った直後であったが、スタートからスピードに乗り、内レーンの近畿大の選手に先行されたものの、専門種目の貫録を見せ、良い位置で次の走者にバトンを繋いだ。2走の駒井（4）は2日前に10000mを走ったばかりであったが、その疲れも見せず、持ち前のスピードで前の2チームを追い、3位でバトンを繋いだ。3走の千種（3）は前半から積極的に前の2チームを追ったが、後続の天理大学の選手に並ばれ競り合いとなり、ポジションを譲ってしまったために4位で次の走者にバトンを繋いだ。4走の大江（1）は今回が初めての公式戦出場であり、前半から積極的にレースを進めたが、後半ペースを落としてしまい、6位でフィニッシュした。今回のオーダーは初めて組んだものであり、今後さらに成長できる可能性があるため、各選手それぞれが力をつけ、チームとしての力も高めていてもらいたい。

文責 小澤 一郎（2）

女子200m

藤沢 由香（2） 予 27" 13 （+2.4m） （9着）

藤沢（2）は前半から積極的に攻める形をとったが、両隣の選手が速かったことから、思うようにスピードに乗れず、直線で力んでしまう走りとなった。この経験を次のレースに活かせるよう、これからの頑張りに期待したい。

文責 松田 恒輝（2）

女子400m

藤沢 由香（2） 予 1' 01" 11 （6着）

藤沢（2）は序盤から思い切った走りで飛び出すことが出来たものの、後半はそのスピードを生かせず失速してしまい、満足のいく記録は出せなかった。課題は見つかったようなので、次の種目別へ繋げてもらいたい。

文責 宮崎 颯人（2）

女子1500m

長野 夏子(2) 決 4' 54" 76 (第1位)

長野(2)はレース序盤から先頭に立った。終盤は後続の選手に迫られ、苦しそうであったが、持ち前の持久力でなんとか逃げ切り、見事、女子1500mで優勝を果たした。ただ、本人はまだまだこの結果に納得していないようなので、この優勝を糧に今後も活躍していつてもらいたい。

文責 永野間 陸(2)



女子1500mで見事優勝を果たした長野(2)

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

倉本さん、嶋田さん

お忙しい中、ありがとうございました。

2017 関西学生陸上競技種目別選手権大会 兼 第39回関西学生混成選手権大会

10月17日～20日 ヤンマーフィールド長居
グランドコンディション

10月17日	雨	17.6℃
10月18日	曇り	21.4℃
10月19日	雨	17.0℃
10月20日	曇り	19.0℃

男子100m

嶋田 祥久 (M2) 予 11" 09 (-0.7m) (2着)

雨も降り非常に寒い中でのレースとなった。その影響もあってか、いつものような走りが出来ず、思うようなタイムが出なかった。調子自体は良いそうなのでこれからのレースに期待したい。

文責 松田 恒輝 (2)

男子200m

嶋田 祥久 (M2) 予 21" 57 (+4.5m) (3着)

準 21" 84☆ (+0.5m) (5着) 歴代1位!

宮崎 喬平 (3) 予 22" 41 (+0.7m) (5着)

嶋田 (M2) は予選では前半からスムーズに加速し、曲線を抜けてからも上手く追い風に乗り、追い風参考ながらも府大記録を大幅に上回る記録をマークした。準決勝でも前半からスピードを上げ、格上の選手に食らいついたが、残りの50mで失速してしまい、惜しくも決勝進出とはならなかった。しかし公認で自身が持つ府大記録を更新し、有終の美を飾った。宮崎 (3) は前半の曲線を抜けるまでの流れは思うままに運ぶことができたが、直線に入ってから周りの選手の勢いに焦り、思うように後半のスピードに乗ることができなかった。100mと共通の弱点が見つかったようなので、両種目でのベスト更新を目指して練習を積んでもらいたい。

文責 宮崎 颯人 (2)

男子400m

中田 剣 (4) 予 49" 60 (2着)
 準 49" 84 (5着)
千種 成尚 (3) 予 52" 61 (7着)

中田(4)は予選では、ラスト100mが苦しそうであったが2着に入り、準決勝に進出した。準決勝では予選の疲れや、気温が低かったこともあり、タイムを伸ばすことが出来なかった。千種(3)は、前半は動いていたが疲労がたまっていき、後半思うような走りが出来なかった。今後の走りに期待したい。

文責 中嶋 利騎 (2)

男子800m

駒井 智己 (4) 予 1' 58" 41 (2着)
 準 2' 11" 79 (7着)
小澤 一郎 (2) 予 2' 01" 69 (5着)

駒井(4)はスパートで前に出て見事着順で準決勝進出を果たした。しかし準決勝では実力を発揮しきれず、2年連続の決勝進出とはならなかった。小澤(2)は中盤まで先頭の後につけてたが、苦手とするスパート勝負に苦戦し準決勝進出には至らなかった。このようなレースパターンにも対応できるように、スプリントの強化が課題となったようだ。

文責 藤沢 由香 (2)

男子5000m

中嶋 利騎 (2) 決 16' 01" 17★ (33位)
若松 和伸 (1) 決 16' 37" 13☆ (44位)

中嶋(2)は入りは前の集団につき目標タイムより速いペースで押していった。後半は疲れが見えたがラストは盛り返し、大学ベストを更新した。若松(1)は落ち着いて集団の後ろから入り、徐々に前の選手を抜いていった。1度4000m付近でペースダウンしたが、粘りの走りで自己ベストを更新した。15分台の格上の選手がほとんどであったが、両選手とも健闘を見せた。来月の丹後駅伝への意気込みが感じられるレースであった。

文責 長野 夏子 (2)

男子110mH

永野間 陸 (2) 予 15" 76 (−0.2m) (6着)

永野間 (2) は怪我が完全に治りきっていない状態でレースに臨んだ。本人も満足のいく試合ではなかったが、怪我が悪化しなくて何よりだ。来シーズンの活躍を期待したい。

文責 松田 恒輝 (2)

男子400mH

松田 恒輝 (2) 予 55" 80☆ (4着)

準 57" 63 (8着)

松田 (2) はハードル練習の成果を発揮し、見事自己ベストタイで準決勝へ駒を進めた。疲労もあってか準決勝では実力を発揮しきれなかったが、本職の400と併せて更なる記録の更新に期待がかかる。

文責 藤沢 由香 (2)

男子4×100mR

大阪府立大学 (宮崎 (3) —松田 (2) —中田 (4) —嶋田 (M2)) 予 DQ

先日の記録会で府大新記録をマークしており、記録の更新に期待がかかったレースであったが、惜しくも1走の宮崎 (3) と2走の松田 (2) 間のバトンが届かず、失格という悔しい結果に終わった。バトンパスの課題を克服し、府大記録の更新に向けて頑張ってもらいたい。

文責 永野間 陸 (2)

男子4×400mR

大阪府立大学 (中田(4)―松田(2)―宮崎(3)―駒井(4))

予 3' 18" 37 (2着)

1走の中田(4)は前半から攻めのレースを展開し、後半も粘りをみせ、上位で2走の松田(2)にバトンを繋いだ。松田(2)は前半では他大の選手に先行されたものの、残りの200mで見事な追い上げをみせた。3走の宮崎(3)は持ち前のスピードで他大の選手に食らいつき、残りの100mで順位を上げ、2位で4走の駒井(4)にバトンを繋いだ。駒井(4)は前を走る立命館大学を懸命に追いかけたが、1走から3走まででかなりのリードを許していたこともあり、順位を上げることが出来ず、惜しくも決勝進出とはならなかった。各メンバーの持ちタイムから府大記録の更新を狙えたこともあり、非常に悔しい結果となった。来シーズンの記録更新に期待したい。

文責 永野間 陸(2)

男子走幅跳

大野 寛季(4) 予 6m31 (+1.0m) (19位)

大野(4)は怪我の影響がある中、また雨天での試合となりコンディションが整わない中での出場であった。来シーズンに向けて感覚を取り戻し、更なる記録の更新に期待したい。

文責 藤沢 由香(2)

男子三段跳

小寺 知輝(4) 予 13m30 (+2.4m) (24位)

木矢 裕貴(3) 予 14m20 (+1.4m) ☆ (12位)

小寺(4)は怪我による練習不足もあり、助走で思うようにスピードに乗れず、記録を伸ばすことが出来なかった。木矢(3)は1本目から自己ベストを更新し、決勝進出への期待がかかったが、2本目は足が合わずファール、3本目は足を合わせた跳躍となり、記録を伸ばすことが出来なかった。今後しっかりと練習を積み、来シーズンへの更なる飛躍に期待したい。

文責 永野間 陸(2)

女子400m

藤沢 由香 (2) 予 1' 01" 17 (4着)

藤沢 (2) は、実力の近い選手がいない中、ラストまでしっかりと足が動いていた。しかし目標としていた1分切りを果たすことが出来ず、悔しい結果であった。冬季練習で課題を克服し、来シーズンは1分切りを果たして、さらに活躍してほしい。

文責 中嶋 利騎 (2)

女子800m

中島 咲歩 (3) 予 2' 19" 99 (1着)

決 2' 23" 85 (第7位)

中島 (3) は、予選ではラストまで先頭争いをする中、先頭を守り抜き1着で決勝に進出した。決勝では、格上の選手相手にスタートからついていくことができず、苦しいレースとなった。しかし、種目別の決勝を走ったことは大きな経験となったであろう。

文責 中嶋 利騎 (2)

女子1500m

長野 夏子 (2) 予 5' 02" 76 (8着)

資格記録では決勝通過は可能であったが、前日までの調整やモチベーションアップが噛み合わず、予選落ちという結果に終わってしまった。この経験を無駄にすることなく、次のシーズンへの糧にしてもらいたい。

文責 宮崎 颯人 (2)

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

倉本さん、嶋田さん

お忙しい中、ありがとうございました。

丹後大学駅伝

兼 第79回関西学生対校駅伝競走大会

11月18日 丹後地域コース
グランドコンディション 雨

総合成績

大阪府立大学 4° 49' 56 (第21位)

第1区(9.0km)	久富 優太 (3)	28' 48	(区間16位)
第2区(8.0km)	小澤 一郎 (2)	29' 50	(区間21位)
第3区(7.0km)	駒井 智己 (4)	23' 53	(区間22位)
第4区(9.8km)	西坂 友希 (1)	34' 15	(区間19位)
第5区(12.3km)	若松 和伸 (1)	43' 12	(区間22位)
第6区(13.3km)	中嶋 利騎 (2)	45' 59	(区間21位)
第7区(13.3km)	三上 賢吾 (M1)	44' 11	(区間19位)
第8区(11.7km)	勝見 涼一 (M2)	39' 48	(区間20位)



丹後大学駅伝に出場した久富 (3) (右) と小澤 (2) (左)

出場した8選手によるコメント

【第1区 久富 優太 (3)】

入学時からずっと目標にしていた丹後大学駅伝への出場が達成でき嬉しいです。また、1区という大事な区間で強豪校の選手と競れたことは良い経験になりました。ご支援いただいた方々、また遠いところ応援に来ていただいた方々、本当にありがとうございます。しかしながら、自分としてもチームとしても反省点が残る結果となってしまったところは心残りなので、来年も必ず出場し、更に上の順位を狙っていきたいです。

【第2区 小澤 一郎 (2)】

序盤は設定通りのペースで走ることができましたが、後半の山上りで足が動かなくなりペースを落としてしまいました。最後は苦しかったです。何とか襷を繋ぐことができたので良かったです。この経験を来年に繋げていきたいと思います。たくさんの応援本当にありがとうございました。

【第3区 駒井 智己 (4)】

中距離パートではありましたが1回生の頃から予選会に出場し続けて、ようやく本選出場が叶い、本当に良かったです。苦しい走りとなりましたが、たくさんの声援のおかげで襷を繋ぐことができました。本当にありがとうございました。

【第4区 西坂 友希 (1)】

今回、初めての丹後駅伝でとても緊張しましたが、先輩方がいい位置でタスキをつないでくれたので、のびのび走ることができました。応援、サポートありがとうございました。

【第5区 若松 和伸 (1)】

タイムは良くなかったですが、駅伝を走れていい経験ができたので次に活かします。応援ありがとうございました。

【第6区 中嶋 利騎 (2)】

想定していたよりも早いペースで入りましたが、終盤まで前の選手についていくという展開でした。途中何度も離されそうになりましたが、気持ちを切らさず粘ることができました。応援が選手の力になるということを強く実感しました。来年度はもっと上を目指せるように頑張っていきます。応援、サポート等、ありがとうございました。

【第7区 三上 賢吾 (M1)】

今の実力の全てを出し切ることはできましたが、上位校の選手との差を痛感させられました。来年個人としてもチームとしてもさらに上を目指せるよう、最後の1年を大事に過ごしていきたいと思います。現地まで応援に駆けつけて下さった皆様、本当にありがとうございました。

【第8区 勝見 涼一 (M2)】

6年間走っていて本当に良かったと思える駅伝でした。来年も是非出場してください。

《応援・競技に参加していただいたOB・OGの皆さん》

この丹後大学駅伝ではたくさんのOB・OG様がお忙しい中、応援に駆けつけてくださいました。部員一同お礼申し上げます。誠にありがとうございました。

3. その他の試合結果

第4回大阪体育大学中長距離競技会 9月2日(土) 浪商学園陸上競技場

男子5000m 三上 賢吾 (M1) 17' 09" 67

第4回長距離ナイター記録会 9月11日(月) ヤンマーフィールド長居

男子10000m 三上 賢吾 (M1) 35' 09" 85
駒井 智己 (4) 37' 10" 01
久富 優太 (3) 34' 32" 23
中嶋 利騎 (2) 33' 31" 92
若松 和伸 (1) 34' 33" 28

茨木市体育協会杯陸上競技大会 9月16日(土) 万博記念競技場

男子100m 宮崎 喬平 (3) 11" 28 (+1.0m)
男子200m 嶋田 祥久 (M2) 22" 61 (+2.6m)
宮崎 喬平 (3) 22" 95 (-0.1m)
男子三段跳 木矢 裕貴 (3) 13m60 (+0.6m)

平成29年度大阪陸協加入クラブ対抗陸上競技大会

兼 第8回シニア陸上競技選手権大会 9月18日(月) ヤンマーフィールド長居

男子100m 嶋田 祥久 (M2) 予 11" 19 (-1.9m)
決 11" 11 (-1.9m) (第3位)
宮崎 喬平 (3) 予 11" 39 (-1.1m)
川原 知己 (3) 予 12" 08 (-1.9m)
男子400m 大江 和範 (1) 予 58" 44

男子走幅跳	大野 寛季 (4)	4 m 2 6 (+0. 9 m)
	小寺 知輝 (4)	5 m 9 4 (-0. 4 m)
	松浦 尚平 (3)	3 m 8 5 (+0. 3 m)
男子三段跳	木矢 裕貴 (3)	1 3 m 8 6 (+0. 8 m)
女子100m	森口 咲紀 (3)	1 3" 8 7 (-3. 1 m)

第4回奈良市陸上競技記録会 9月23日(土) 鴻ノ池陸上競技場

男子100m	宮崎 喬平 (3)	1 1" 5 9 (-4. 0 m)
--------	-----------	--------------------

第50回堺市陸上競技選手権大会 10月1日(日) 金岡公園陸上競技場

男子100m	嶋田 祥久 (M2)	予	1 1" 0 5 (+0. 3 m)	(第6位)
		決	1 0" 9 2 (+0. 3 m)	
	倉本 惇嗣 (M2)	予	1 1" 8 1 (-0. 1 m)	
	宮崎 喬平 (3)	予	1 1" 2 4 (-0. 9 m)	
男子400m	千種 成尚 (3)	予	5 2" 3 8	
女子100m	森口 咲紀 (3)	予	1 3" 8 8 (-0. 5 m)	
女子200m	森口 咲紀 (3)	予	2 7" 8 6 (+2. 4 m)	

2017関西学生長距離強化競技会 10月1日(日) 関西大学千里山中央グラウンド

男子10000m	三上 賢吾 (M1)	3 5' 5 4" 2
	駒井 智己 (4)	3 6' 3 9" 4
	久富 優太 (3)	3 5' 2 0" 3
	小澤 一郎 (2)	3 4' 3 5" 7 ☆
	中嶋 利騎 (2)	3 3' 3 2" 1
	西坂 友希 (1)	3 5' 2 2" 7
	若松 和伸 (1)	3 4' 2 7" 4 ☆

第5回大阪体育大学中長距離競技会 10月7日(土) 浪商学園陸上競技場

男子800m 駒井 智己(4) 1' 53" 71 ☆ 歴代1位!

第5回奈良市陸上競技記録会 10月9日(月) 鴻ノ池陸上競技場

男子100m 川原 知己(3) 11" 99 (-0.3m)

男子200m 川原 知己(3) 23" 66 (+0.5m)

男子4×100mR (宮崎(3)一松田(2)一中田(4)一嶋田(M2))
41" 50 ☆ 歴代1位!

男子三段跳 木矢 裕貴(3) 14m 15 (+0.8m) ☆

女子400m 藤沢 由香(2) 1' 01" 97

2017兵庫陸上競技秋季記録会 10月14日(土) ユニバー記念競技場

男子1500m 小澤 一郎(2) 4' 05" 90 ☆

2017年度 第2回強化・長距離記録会 10月14日(土) 橿原公苑陸上競技場

男子10000m 三上 賢吾(M1) 34' 11" 90

久富 優太(3) 32' 21" 40

第6回奈良市陸上競技記録会 11月3日(金) 鴻ノ池陸上競技場

男子200m 嶋田 祥久(M2) 24" 17 (-1.9m)

男子400m 中田 剣(4) 49" 00

第5回大阪体育大学競技会 兼 第1回混成競技会

11月5日(土)～6日(日) 浪商学園陸上競技場

男子100m 嶋田 祥久 (M2) 予 10" 87 (±0.0m)
 決 10" 78 (+1.7m) ☆ 歴代1位!
 黒田 丈一郎 (4) 予 11" 51 (-0.1m)

男子400m 駒井 智己 (4) 予 55" 64
 大江 和範 (1) 予 58" 40

男子十種競技 松田 恒輝 (2) 4706点
 100m 11" 53 (-0.8m) 746点
 走幅跳 6m24 (+1.9m) 639点
 砲丸投 6m63 286点
 走高跳 1m60 464点
 400m 50" 54 790点
 110mH 17" 70 (-0.2m) 553点
 円盤投 14m84 177点
 棒高跳 NM 0点
 やり投げ 32m91 340点
 1500m 4' 35" 24 711点

女子100m 池田 美悠 (4) 予 13" 87 (-0.6m)
 森口 咲紀 (3) 予 13" 90 (-0.6m)

大阪陸協長距離強化記録会 11月11日(土) ヤンマースタジアム長居

男子5000m 勝見 涼一 (M2) 16' 41" 19
 駒井 智己 (4) 17' 24" 84
 久富 優太 (3) 15' 59" 05
 西坂 友希 (1) 16' 02" 56 ★

第6回京都産業大学長距離競技会

11月25日(土) 京都産業大学総合グラウンド陸上競技場

男子10000m 三上 賢吾 (M1) 33' 12" 00

大阪陸協長距離第2回記録会 12月2日(土) ヤンマースタジアム長居

男子5000m	三上 賢吾 (M1)	15' 50" 74	☆
	駒井 智己 (4)	17' 09" 89	
	久富 優太 (3)	15' 23" 06	
	小澤 一郎 (2)	15' 58" 94	☆
	中嶋 利騎 (2)	15' 50" 94	☆
	西坂 友希 (1)	16' 10" 51	
	若松 和伸 (1)	16' 48" 07	

女子5000m	長野 夏子 (2)	18' 25" 57	
---------	-----------	------------	--

第10回和歌山陸上競技協会記録会 12月10日(日) 紀三井寺公園陸上競技場

男子600m	駒井 智己 (4)	1' 23" 62	☆
--------	-----------	-----------	---

関学記録会 12月16日(土) 関西学院第2フィールド陸上競技場

男子10000m	三上 賢吾 (M1)	32' 44" 8	☆
	駒井 智己 (4)	35' 26" 5	☆
	久富 優太 (3)	32' 43" 5	
	小澤 一郎 (2)	33' 24" 2	☆
	中嶋 利騎 (2)	32' 57" 6	☆

4. 今後の目標と反省

短距離パート

夏シーズンを終え、秋シーズンを迎えました。今年は気温の変化も大きく、試合ごとに調整が難しいものが多かったように思います。この期間には、新人戦と種目別選手権がありました。昨年度、自分は個人で標準を突破することができませんでしたが、リレーでさせていただき、貴重な経験を積むことができました。なので、今年の新人戦で、個人種目とリレー種目を通して全1・2回生が試合に出場できたのは大きな収穫だと考えています。このようなレベルの高い試合に出る経験を活かして、これから頑張ってもらいたいと思います。また、種目別選手権では、多くの選手が出場し、準決勝進出や、府大記録の更新など多くの嬉しい報告がありました。それもこれも、各部員が日々の練習を通じて頑張った成果の賜物だと思います。パート長として、それらに貢献できていたかどうかはわかりませんが、今シーズンの一つの締めくくりとなるこの種目別選手権を、短距離パート全員で臨むことができたことに嬉しく思います。これからは新パート長の松田（2）が短距離を引っ張って行ってくれるので、これからも応援よろしくをお願いします。

文責 短距離パート長 千種 成尚（3）

中距離パート

中距離パートにとっては、全ての世代が結果を残す秋シーズンとなりました。9月に行われた関西新人戦では、長野（2）が女子1500mで見事優勝を飾りました。この大会では、特に下級生の活躍が目立ち、来年以降の主要大会でのさらなる飛躍が期待できました。10月に行われた種目別選手権では、中島（3）が女子800mで初の決勝進出を果たして、7位入賞という成績を残しました。この大会では、特に上級生の活躍が目立ち、後輩の飛躍に感化された先輩の意地を感じました。また、11月に行われた丹後大学駅伝には、中距離パートから駒井（4）と小澤（2）の2名が参加しました。両者とも記録審査の対象種目である10000mで記録を残し、9年ぶりの丹後大学駅伝出場に貢献しました。しかし、本戦では両者とも長い距離に対する経験不足が見られ、苦しい走りとなってしまいました。来年以降も駅伝に参加する機会はあると思うので、長い距離にも対応できるようにしていきたいです。種目別選手権をもって中距離パート長は小澤がさせていただいています。少ない人数の中でできることは限られているので、一人一人が今できることをしっかり考えて、行動していきたいと思います。これからも中距離パートへの暖かいご声援をよろしくをお願いします。

文責 中距離パート長 小澤 一郎（2）

長距離パート

気温が下がり、グラウンドにも冷たい風が強く吹く季節になってきました。今年最後の対校戦である六公立戦では、男子5000mに久富（3）、中嶋（2）が出場し、ワンツーフイニッシュで府大の勝利に貢献することができました。また、新人戦では1500mに中嶋が、種目別選手権では5000mに中嶋、若松（1）が出場しました。特に種目別選手権では格上の選手が多いなかで中嶋が大学ベスト、若松が自己ベストを更新するなど、収穫の多いレースとなりました。

しかし、何とんでも大きかったのは丹後大学駅伝への出場です。これは中長距離パートだけでなく陸上部全体としての目標であり、同時に僕自信の入学時からの目標でもあったので、出場決定の連絡が来た時は震えました。出場枠が前回9年前の出場時より増えているとはいえ、大きなことを成し遂げられて良かったと思います。OB・OGの方々、顧問の吉武先生、学連員の酒井、さらに他パートの選手など、様々な方々に様々な形でご支援いただき、ここまでこられました。本当にありがとうございました。とはいえ、肝心の駅伝本番では総合21位と、「出場しただけ」になった感じは否めません。僕自身も区間順位1桁に入るという目標には遠く及びませんでした。恐らくメンバー全員が少なからず悔しさや反省点を感じているはずなので、その思いをばねにして練習に励み、来年は駅伝出場に満足するのではなくもっと上を狙いにいきます。

さて、2年1ヵ月続いた僕のパート長も終わり、今後は2回生の中嶋が新しい長距離パート長となります。練習に対する考え方も違うと思うので、長距離パートに新しい風を吹き込んでくれるはずです。新パート長の元更なる記録の向上、対校戦の勝利、そして丹後大学駅伝でのリベンジに向けて精進していきますので、今後ともご支援・ご声援のほどよろしくお願いいたします。

文責 長距離パート長 久富 優太（3）

フィールドパート

種目別選手権も終わり、今シーズンの記録会もほぼ終了しました。種目別では木矢（3）が三段跳で自己ベストを更新し、3回生としての意地を最後に見せてくれました。今年の種目別は学校枠にも高い参加標準記録が設定され、出場を断念せざるを得ない選手が多くでした。今後の練習は種目別の参加標準記録を越えられるような実力を着実につける練習が必要になってくるでしょう。冬の間にはしっかりと地に足つけた練習をし、来シーズンで大暴れできるようにフィールドパート一丸となって精進いたします。

以降のフィールドパート長は宮崎（2）が務めさせていただきます。今後とも暖かいご声援をよろしく願います。

文責 フィールドパート長 松浦 尚平（3）